

# 【民俗（みんぞく）とは？】

民俗（みんぞく）とは、昔（むかし）から続（つづ）いている生活（せいかつ）やお祭（まつり）などのことです。

## 1、 平野（へいや）の生活（せいかつ）

お米（こめ）を作（つく）ったり、畑（はたけ）では麦（むぎ）や大根（だいこん）・豆（まめ）などを作っていました。



## 2、 山（やま）の生活（せいかつ）

山に住むひとたちは木（き）を育（そだ）てたり、アワやヒエなどを作（つく）って暮（く）らしていました。いのししなどの動物（どうぶつ）を捕（つか）まえて、生活（せいかつ）する人（ひと）もいました。

## 3、 海（うみ）の生活（せいかつ）

天草（あまくさ）地方（ちほう）には大小さまざまな島（しま）がありました。そこでは、素潜り漁（すもぐりりょう）などで、魚（さかな）を捕（つか）まえて、暮（く）らしている人（ひと）が多（おお）くいました。

## 4、 町（まち）の生活（せいかつ）

市内（しない）には城下町（じょうかまち）が広（ひろ）がっていました。商売（しょうばい）をする人（ひと）たちも多く住んでいました。

## 5、 囲炉裏（いろり）の暮（く）らし

昔（むかし）の家（いえ）には、囲炉裏（いろり）がありました。そこには自在鉤（じざいかぎ）がぶらさがっていました。鍋（なべ）などをかけて、料理（りょうり）をしました。家（いえ）の中心（ちゅうしん）となり、家族（かぞく）の集（あつ）まる場所でした。

